

平成30事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

平成30年2月

平成30事業年度 事業計画書

I 基本方針

本財団を設立して既に4年半経過しようとしており、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理者となってからも4年目を終了するところである。

その中で、市では『第4次総合計画・後期実行計画』をスタートするとともに、「市制施行100周年」が着実に迫ってきており、国でも日本文化を世界に発信する好機となる「東京オリンピック・パラリンピック」を目前に控えるなど、本財団としても大きな節目の年となる。

そこで、本事業年度は、これまでの実績と課題を踏まえ、新たな視点に立って、目先だけでなく将来を見据えた計画・取組を行い、後年度へつなげていく大事な1年とするため、主として次のことを重点的に取り組んでいく。

- 1 市策定の『第4次総合計画・後期実行計画』や『第二次文化振興ビジョン』の施策と連動しながら、組織目標の設定や業務の計画・執行を図る。
- 2 「東京オリンピック・パラリンピック」に係る国や県の取組に積極的に参画し、文化による地域の活力創出を図るとともに、本市で実施する文化事業を対外的に発信していく契機とする。
- 3 記念会館及び文化会館（以下、「両館」という。）の指定管理者として円滑に更新していくため、市の仕様書を踏まえながら、1期目の課題解決策を反映し、持続的発展のある運営管理手法を取り入れた新たな事業計画書を作成する。
- 4 両館の歴史や特性を踏まえ、ピアノ等の資産をはじめ、館内外を有効活用した事業や宣伝を実施するとともに、学生をはじめとした若者がもっと集える環境をつくり賑わいを創出していく。また、施設のICT化を視野に入れながら、テクノロジーアートの実施を考えていく。
- 5 「市制施行100周年」における文化事業等に積極的に参画していくため、将来の文化活動をけん引していく市民等の育成を更に図り、これまで財団で育成してきた人材を動員して実施できる事業を検討する。また、今以上に子ども達が文化を通して将来に夢を持ちチャレンジしていける機会の創出を図る。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

(1) ステージ事業

●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	6/10 (日)	<p>【大型公演誘致 企業特別協賛事業】</p> <p>【共催事業：tys テレビ山口】 「吉本新喜劇 & バラエティショー」</p> <p>個性豊かなキャストが見せるエネルギーあふれるステージは、迫力満点で大爆笑間違いなしの事業。親と子、家族、友だち同士で鑑賞することにより、笑いと感動の共有を行い、鑑賞者の生活を心豊かにする事業である。</p>	<p>【目的】大型誘致事業として企業協賛、またテレビ局と共催することで、チケット料金をおさえ、市民が気軽に足を運び鑑賞する機会を創出する。</p> <p>【効果】笑いは健康の源と言われ、現代社会には必要不可欠なものである。その笑いを手軽に鑑賞する機会を提供することで、市民が心豊かな生活ができるまちづくりにつながる。</p> <p>【ターゲット】10～70歳代男性・女性</p>	記念 会館	4,934
2	7/28 (土)	<p>【主催：五嶋 龍 in 宇部実行委員会】</p> <p>「五嶋 龍 ヴァイオリンリサイタル」</p> <p>演奏において、完璧なテクニックで独自の音楽的才能を披露することのできるトップヴァイオリニスト・五嶋 龍によるコンサート公演。</p>	<p>【目的】ホールの特性を活かした、国際的にも活躍するアーティストの公演を実施することにより、普段触れることの少ないトップアーティストの鑑賞機会を提供する。</p> <p>【効果】大都市圏でしか鑑賞することのできないアーティスト公演を実施することにより、記念会館の文化的価値と地元宇部への愛着、アイデンティティの再認識が図ることができる。</p> <p>【ターゲット】10～70歳代男性・女性</p>	記念 会館	—
3	9/22 (土)	<p>【共催事業：宇部好楽協会】</p> <p>「フォレストコンサート2018 in 宇部」</p> <p>日本を代表するコーラスグループ。「日本の素晴らしい風土と文化を歌い継ぐ」をテーマに、「BS日本こころの歌」のレギュラーとして誕生。童謡・唱歌、さらに明治から平成までの「想い出の名曲」を楽しめる公演。</p>	<p>【目的】宇部市内の文化団体と連携し、共催事業として実施することにより、アーティストの幅が広がるとともに、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となり、文化の愛好者の拡大につながる。</p> <p>【効果】共催事業の実施により、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加と市民のより幅広い文化の享受につながる。</p> <p>【ターゲット】20～70歳代の女性・男性</p>	記念 会館	—

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
4	10/28 (日)	「世良公則 Knock×Knock with 宇崎竜童」 男女問わず、ファンの多い世良公則は、往年のバンド世代に人気が高い。世良公則が特別ゲスト・宇崎竜童を迎えて贈る最高のアコースティックセッション公演。	【目的】公演回数の少ないアコースティック公演を実施することにより、団塊の世代の潜在的な顧客を開発し、市民の文化に触れる機会を創出する事業。 【効果】舞台での公演に間近で触れることにより、感動の機会の創出と経験価値を高めることにつながる。ターゲットを友達同士、若い主婦、そのパートナーに据え、文化に親しむことの重要性を育むことにつながる。 【ターゲット】30～60歳代女性・男性	記念 会館	4,925
5	4/22(日) 9/30(日)	《協力事業実施枠》 宇部市内団体やプロモーター実施事業を積極的に誘致することにより、友の会や宇部市民の文化に触れる機会を創出する。 【平成30年1月末現在 決定している協力事業】 「光永有香ピアノリサイタル」 主催：宇部好楽協会 「竹原ピストル 全国弾き語りツアー」 主催：ユニオン音楽事務所	【目的】宇部市内の文化団体、実行委員会やプロモーターと連携し、協力事業として実施することにより、アーティスト公演の実施が増えるとともに、鑑賞機会の少ない層への普及啓発となり、文化の愛好者の拡大につながる。 【効果】協力事業の実施により、経費のリスクを抑え、実施事業のバリエーションが広がり、ひいては友の会の会員の増加と多様な文化の提供につなげる。 【ターゲット】20～70歳代の女性・男性	記念 会館	—

●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8月 上旬 (予定)	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	文化 会館	1,172
2	12月 中旬 (予定)	「第九『歓喜の歌』で HAPPY END 2018 IN 渡辺翁記念会館」 【継続事業】	1年の締めくくりに、山口県にゆかりのある出演者等によるステージのほか、その方達と地元オーケストラ、市民から一般公募で結成された合唱団と一緒に「第九」を大合唱する。今年度も更なる若者の参画を図る。	記念 会館	285
3	9月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	市民音楽祭、吟剣詩舞道、邦楽演奏、演劇、奇術、文連フェスティバルなどを各種文化団体が実施。	文化 会館 ほか	257

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	未定	展示事業 コラボレーション芸術祭 (仮称) 【新規事業】	50年続く芸術祭の展示事業と、財団の企画する展示事業がコラボレーションすることにより、新たな発見と感動を生み出すとともに、芸術祭の新展開につなげる。また、文化会館の特性を活かしながら実施することにより、会館や地元への誇りと愛着を持つことにつながる。	文化会館	500

●市受託事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	9月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	写真、手工芸、絵画・彫刻、詩、陶芸、短歌、華道、木彫篆額、俳画、俳句、書道、古典園芸、ばら、ランなどの展示会を各部門で実施。	文化会館 ほか	1,422

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」 事業支援 【継続事業】	市内でブラスバンド等を行っている児童・生徒たちの技術のレベルアップを図る機会を創出するとともに、将来的に「宇部ジュニア・アンサンブル」とコラボレーションできる素地をつくり、若手音楽家の育成を図る。	記念会館 ほか	300
2	適宜	「記念会館活用・活性化 PR事業」 【継続事業】	文化に触れる機会の少ない層への会館来場のきっかけづくりと、記念会館のロビーや特性をいかしながら事業を実施する。地元アーティストの活用や食等のイベントを交えることで、記念会館及び市の中心部の賑わいを創出する。 また、開館80周年を迎えた記念会館と40年を迎える文化会館の利用者を拡大していくため、新たな利用方法なども含め、PRや広報宣伝を継続的に実施する。	記念会館	500

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 記念会館及び文化会館を主として、市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金(予算の範囲内)の交付やチケット販売・広報の支援を行う。 次世代育成や社会的貢献性の高い事業を重視する。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全育成や文化活動団体の育成につながる。 なお、「beyond2020プログラム」への幅広い参画を促す。 【ターゲット】 宇部市内の文化活動団体	1,000

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	通年	【音楽イベント実施事業】 記念会館・文化会館 若者にぎわい創出事業(仮称) 【新規事業】 26年度からの実施してきた音楽事業を組直し、新たに実施する。音楽を通じて文化振興及び活動者の育成を図るとともに、若者の参加の機会を創出し、中心市街地の賑わいを創出していく。	【目的】音楽を通じて文化振興と活動者の育成及び鑑賞者の鑑賞機会の創出を図る事業 【効果】出演者は他団体との交流や新しい公演事業への発展があるとともに、来場者は新たなジャンルの音楽に触れる機会を享受でき、音楽鑑賞者の育成、音楽文化の底辺の拡大、将来の音楽を通してのまちづくりにつながる。 【ターゲット】市民全般	記念会館 ほか	700
2	日程調整中	【次世代育成事業】【継続事業】 「子ども向け鑑賞&ワークショップ」 子ども向けではあるが、本格的な音楽を楽しめ、子どもから大人まで満足度の高い公演を実施する。楽器の体験など開演までの時間で実施し、次世代の音楽への興味関心を深めていくことができる。	【目的】次代を担う子どもたちに、良質な文化を鑑賞・体験する機会を提供することで心豊かに健やかに育っていく環境整備を図る。 【効果】公演を鑑賞することで、文化がより身近なものになり、また、親子・家族での感動を共有することで経験価値が高まり、ひいては心豊かに生活できるまちづくりにつながる。 【ターゲット】 5~30歳代の親子・家族	記念会館	3,300

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
3	日程調整中	<p>【古典芸能イベント実施事業】 【新規事業】 狂言会など</p> <p>近年、若い世代でも「狂言」の人気が出ている中で、斬新な活動をする狂言師と知名度の高い演者による身近で分かりやすい古典芸能の公演を実施する。</p>	<p>【目的】次代を担う子どもたちや市民に、良質な日本の伝統文化の鑑賞機会を提供する。</p> <p>【効果】日本の伝統文化の鑑賞公演を実施することにより、自分たちの国のことをより理解するとともに、文化が身近なものになり、2020年東京オリンピック・パラリンピックで予想される訪日外国人の方達とも、自信を持って対応し、自国に誇りを持つことにつながる。</p> <p>【ターゲット】 7～60歳代の親子・家族</p>	記念会館	5,550
4	未定	<p>【演劇イベント実施事業】 演劇関連事業 ワークショップ 又は戯曲講座（仮）</p> <p>演劇活動者や創作者の交流と創造を支援する事業。市民の演劇活動への参加と、市民の鑑賞の機会とまちの賑わいの創出につながる。また前回28年度に実施した「戯曲を読む会 in 宇部」参加者のよりレベルアップを実施する事業。</p>	<p>【目的】宇部市内や周辺市で活動する役者・スタッフ等のさらなるレベルアップと交流を創出する。</p> <p>【効果】様々な演出家の指導や戯曲講座、ワークショップ等を受講することにより、活動者の潜在的な表現力が高まるとともに、新たな活動者の発掘と人材育成へつながる。宇部市の演劇ジャンルのすそ野の拡大とレベルアップにつながる。</p> <p>【ターゲット】 演劇活動者及び市民全般</p>	未定	300
5	9月～3月(予定)	<p>バリアフリーアート事業 【継続事業】</p> <p>幼児から高齢者、障がいを抱える方、また外国の方など、誰もが楽しめる文化事業を実施する。</p>	<p>【目的】市民のニーズや生涯学習の多様化にも対応できる文化事業を実施する。</p> <p>【効果】文化事業等への参加を通じて、感動や出来る喜びを体験し、経験価値が高まることで、心豊かに生活できるまちづくりにつながる。</p> <p>【ターゲット】市民全般</p>	記念会館 又は文化会館	400

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
6	9月 ～ 11月 (予定)	宇部市総合戦略 アートによるまちづくり 「アーティスト・イン ・レジデンス」連携事業 【継続事業】 「アートによるまちづくり『ア ーティスト・イン・レジデンス』 連携事業として、アーティスト によるワークショップを実施 し、子ども達をはじめ市民がア ートに接する機会を創出する。	【目的】 宇部市が実施する「アーティ スト・イン・レジデンス」に連動して、 アーティストによるワークショップ 等の関連事業を実施する。 【効果】 アーティストとの交流や教育 活動を通じて市民の文化への興味関 心がさらに深まり、経験価値が高まる ことでより豊かな生活及び社会活動 につながる。 【ターゲット】 市民全般	市内	300
7	通年	会館 I C T 化関連事業 【新規事業】	29年度に開館80周年を迎えた記念会 館、40年を迎える文化会館。これか らの I C T 化等の可能性を見据え、次 世代型文化施設として変化をしてい くためのインフラの整備やテクノロ ジーアートの実施などの提案を広く 募集するのと並行して、職員の I C T 化に向けての知識や技能の向上を図 る。	記念 会館 ほか	700

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「子ども伝統文化 わくわく体験学校」 【継続事業】	華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほか、 多彩なジャンルの体験教室を開催。	文化 会館他	77
2	9月～ 1月(予定)	「子ども文化夢教室」 【継続事業】	各ジャンルの指導者による、学校でのア ウトリーチ・ワークショップ型文化教室 を開催。	各小 学校	652
3	未定	「子ども夢・ チャレンジ事業」 【新規事業】	アーティストを招き、子どもたちに将来 への夢や希望・目標などを考える機会を 創出する。	記念 会館	1,000

②財団職員に対して

- 市民や会館利用者及び来場者等を気持ちよく迎え、笑顔で帰っていただくことを第一義に考える。特に、障がい者への差別解消や自主的な配慮を実践し、その他高齢者や子ども等に対しても細やかに配慮する。
- 職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚をもちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において、業務に取り組んでいく。
- 内部研修や、職員ミーティングの拡充等を図り、組織全体の意思疎通や能力の向上を進めていく。
- 引き続き全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する研修や、文化庁の講師派遣型支援事業の活用を図り育成を進める。

【具体的な研修事例】

- ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
- ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
- ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業 等

- 防犯・防火・地震対策、AED研修等の会館利用者に対する安全対策、障がい者対応、関係法令等の内部研修会や外部講師による非常時等の危機管理研修を実施する。
- 両会館の舞台等技術職員には、新しい技術や知識を取得し、最新の機器にも対応できる技能を得てもらうため、必要な研修会に積極的に参加できる体制をつくる。また、取得した知識や技術を他の職員にも還元し、職員間の交流が活発になるようにする。

3 意識啓発及び情報発信事業

(1) 意識啓発事業

- 文化活動団体や地元企業団体等の会合に積極的に参加し、財団のPRや友の会への勧誘、自主文化事業の宣伝を行い、財団の支援者や理解者を増やしていく。
- テレビやラジオなどのメディアに積極的に出演し、財団の取組や実施事業等を宣伝し、啓発の効果を高めていく。
- 財団友の会
 - ・会員数の確実な増員を図るため、リピーターの確保を強化する。
 - ・プロモーターや文化団体などが主催する協力事業を誘致し、友の会の先行予約等を実施するなど友の会のメリットを高めていく。
- 財団市民サポーター
 - ・サポーターの役割や意義を浸透させ、市民の関心を高め、賛同者や加入者を増やす。
 - ・加入者との連絡体制を密にし、積極的に情報提供していくことで、イベント時の参加者をもっと増やしていく。
 - ・財団職員とサポーターとの意見交換の場や合同の研修会を行うとともに、表彰や特典付与制度などで活動内容に充実感や達成感を得られるようにする。

(ア) 友の会 会員数の現状（1月末現在）と目標／実績

事業年度 種類	現在の 会員数	平成 30 目標会員数	平成 28	平成 27	平成 26	平成 25
個人会員（人）	3 9 3 人	4 3 0 人	4 0 2	3 2 3	1 6 7	6 1
法人会員（団体）	4 1 団体	4 5 団体	4 6	2 5	1 4	6

(イ) 財団市民サポーター数の現状（1月末現在）と目標／実績

現在のサポーター数	平成 30 事業年度 目標サポーター数	平成 28 事業年度	平成 27 事業年度	平成 26 事業年度	平成 25 事業年度
55人	60人	56人	47人	39人	31人

(2) 情報発信事業

●メディアミックス

新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・フェイスブックなど事業内容に応じたメディアを組み合わせ、効果的な情報発信を行う。

●情報誌「イベントガイド」「イベントインフォメーション」

掲載内容やトップページに工夫を凝らし、市民等が興味を持ち、実施事業等の鑑賞や参加につながる誌面作りを行う。

●ホームページ

障がいを持った方をはじめ、高齢者や子どもなど、誰でも分かり易い表示に努め、財団自主文化事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供していく。

●その他

無料で掲載できる冊子等やパブリシティ等を積極的に活用し、また他の組織の情報誌やホームページ等への掲載利用を行い、効果的な発信を行っていく。

4 調査研究及び資料収集事業

(1) 調査研究事業

●ICTを活用した両館のインフラ整備や事業運営を検討していく。

●利用者からのアンケート結果や、他都市の財団や文化施設などからの情報をもとに、マーケティング分析を行い、自主文化事業の選定や財団運営方法を研究する。

●ペアチケットやグループチケットの設定や、障がい者や外国籍の方等に配慮したチケット販売方法を研究し、利用者の購買意欲向上につなげる。

●文化事業の提供にとどまらず、記念会館や文化会館等の劇場が社会の中で求められる役割として、社会包摂の取り組み方や、食文化、健康、スポーツ、福祉などとの連携について研究していく。

(2) 資料収集事業

●安定した事業経営や規模の大きい文化事業を実施している先進的な他財団のノウハウ等を吸収するための資料収集を進める。

●県内外の大手プロモーター等との日頃からのコンタクトや積極的な直接訪問により、信頼関係づくりの構築とともに、有益な情報収集を図る。

●県内及び近隣の財団との間で、実施する自主文化事業が重ならないよう調整したり、安定した文化事業を実施している団体等から収益が見込める事業やアーティストの情報を収集する。

●全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会をはじめ、助成金支援を実施している団体等からの情報をこまめに収集し、市民や文化活動団体へその情報を効果的に提供する。

5 施設管理運営事業

- ① 記念会館及び文化会館の指定管理者として第二期目の指定を得るための、これまでの課題解決策を反映し、持続的発展のある運営管理システムを取り入れた事業計画書を作成する。
- ② 29年度に冷房機器が故障し、利用者の支障になった経験を踏まえ、両館の計画的な改修等について市と連携を図り、安定的な施設運営につなげていく。
- ③ 会館内での事故や、付帯設備の故障を未然に防ぐためにも、職員や組織全体でのリスクマネジメントを行うとともに、利用者への安全管理対応の喚起を促進し、事故防止の徹底を図る。
- ④ 障がいがある方等も利用しやすいよう施設のバリアフリー改修に努め、施設改修が難しい箇所は職員による対応で補う。
- ⑤ 文化事業のポスター掲示やチラシ設置、会館ホームページへの掲載により、広く市民に文化の情報を提供するとともに、プレイガイド機能の充実を図り、利用者の利便性を高める。
- ⑥ 「宇部市公共施設等総合管理計画」に基づいて動く市と連携しながら、予算を効率的に活用し、両館内のLED化や利便性向上を進める。
- ⑦ 利用者には丁寧な説明や専門的なアドバイスに努め、要望等に対して満足度が高められるよう積極的にマネジメントしていく。
- ⑧ 記念会館については、引き続きロビー等も含めた多様な活用方法を示し、市民や文化団体独自の新たな利用につなげていく。
- ⑨ 第二次文化振興ビジョンの目標と整合させ、記念会館においては、利用率50%を維持しながら、文化会館及び記念会館において、次の目標を置く。

	30年度目標	28年度実績
記念会館・文化会館 延べ来場者数	158,000	123,316
記念会館 公演等回数	102	81
文化ホール 公演等回数	107	81

●【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	4月 ～ 8月	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」</p> <p>①幼稚園・保育園・小学校・中学校 単位にて実施 【継続事業】</p> <p>②夏休み・親子・家族向け【継続事業】</p> <p>③心も体も健康になろう【継続事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。</p> <p>③においては、探検後、健康体操を行ったり一緒に歌を歌ったりして、心も体もリフレッシュしていただく。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】</p> <p>①市内幼稚園・保育園・小学校・中学生 ※学校・園単位にて受入・実施</p> <p>②小学生などの親子・家族</p> <p>③高齢者・各種施設入居者等</p>	記念会館及びロビー	80
2	8月 ほか	<p>◆体験型事業 「スタインウェイを弾こう！」</p> <p>【継続事業】</p> <p>普段弾くことの少ないスタインウェイのグランドピアノを、記念会館のステージ上で30分、満喫して弾くことができる事業。今年度も一般対象日と大学生以下対象日と分けて実施する。好評のため記念会館の空き状況を見て、年に数回行う。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】普段とは違うホールの空間で、スタインウェイグランドピアノを体験することで、青少年等が文化の鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。</p> <p>【ターゲット】 市民全般</p>	記念会館	36
3	5/3 (木祝) 未定 未定	<p>《渡辺翁記念会館活用誘致事業》</p> <p>【継続事業】</p> <p>ロビーや記念会館を利用して実施する事業を誘致し、参加者に気軽に足を運んでいただけるように実施する。</p> <p>「コスプレ・イベント」</p> <p>「ロビー・コンサート」</p> <p>「ロビー・ダンス」</p> <p>など</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。</p> <p>【効果】文化の鑑賞機会の少ない層には会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。</p> <p>【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性</p>	記念会館及びロビー	(500)

6 その他事業

- 財団が実施する文化事業の中で、「東京オリンピック・パラリンピック」を踏まえ展開される「beyond2020」に認証される事業が増えるよう、日本文化の魅力発信や多様性・国際性への配慮を取り入れていく。
- 両館以外でも文化によるまちなかのにぎわい創出を図るため、宇部井筒屋や川崎美術館、にぎわい宇部など連携していく。
- 両館の二期目の指定管理者になるために作成する「事業計画書」の作成に合わせ、財団の中長期的な経営指針も策定する。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】	会場	事業費
1	適宜	<p>「展示等文化活動支援事業」</p> <p style="text-align: center;">【継続事業】</p> <p>両館以外で展示やコンサートなどが可能な近隣施設と連携して実施する。</p> <p>*宇部新川駅(会館・川崎美術館)～市役所周辺(宇部井筒屋等)の間で行われる市民向けの企画展示等に対する支援</p>	<p>【目的】記念会館・文化会館だけでなく、展示やコンサートなどが可能な近隣施設と連携してまちなかの賑わいの相乗効果を図る。</p> <p>【効果】中心市街地に両会館以外の文化活動拠点が増え、市民の認識が高まることにより、鑑賞機会が増え、経験価値が高まることでより豊かな生活及び社会活動につながる。</p>	—	100